

視察成果報告書

令和 6 年 11 月 12 日

犬山市議会

議長 柴田 浩行 様

議員名 小川 清美

下記のとおり、視察の成果を報告いたします。

(1) 視察年月日	令和 6 年 11 月 1 日 (金)
(2) 視 察 地	愛知県常滑市 (宿泊税について)
(3) 視察の種類	常任委員会行政視察研修 (建設経済委員会)
(4) 視察成果 (視察地ごとに記入)	対応 ; 議会 → 議長 加藤久豊 氏 市役所 → 経済部観光戦略課 ; 安藤課長、升本副主幹、竹内氏 総務部税務課 ; 近藤課長 議会事務局長 ; 竹内氏 宿泊税について ▽導入検討は誰の発案か。 H29 年一般質問、R1 年市長から正式指示があったもののコロナの関係で検討頓挫。R5 年に再度一般質問あり。現市長が公約の 1 つに掲げ 4 月 2 期目当選、1 年後を目処に実施の指示であったが、国との協議や周知を考慮し R7 年 1 月 6 日より施行 ▽庁内の役割 フレーム作り → 企画課 (総務課 ?) 税の使途等 → 観光戦略課 条例作成等実務 → 税務課 ▽対象宿泊事業は、旅館業の許可施設を中心とし、民泊も含む。 想定宿泊者数 100 万人 ※R5 年実績 約 80 万人 想定額 2 億円 (200 円/人) ▽宿泊事業者 (当時 37 者) に直接会ってアンケートを 2 回実施。反対の声が多くあったが、丁寧に何度も説明し説得に努めた。市民アンケートは行っておらず、市民の反応は、ほとんど無し。 ▽額の設定にあたってのよう検討は。 先進自治体の例を参照したが、宿泊料によって税を変動する手法 (東京都、大阪府等) は、事業者の負担増となるため、不採用 ▽事業者へは 6% を事務費として還元。その他システム改修費を補助負担



	▽導入前であるが、空港島と内陸部を結ぶシャトルバスを現在運行。導入後、便数等を見直したうえで、1年間運行した場合、約8000万円見込む
(5) 犬山市に対する提言	大宰府市で、実施している駐車場税に比べて、導入に際しての事前調査や協議等に係る事務作業が少ないと感じるため比較的導入し易い施策と言えます。常滑市の場合は宿泊者数が相当量ありその効果が大きいですが、年間18万人程度の当市に当てはめた場合、税収は3600万円程度であるため、引き続き宿泊数の増加策の実施が重要と考えます。